

スタッフが日ごろよくお受けする相談について、まちスポ大津の理事“遠藤さん”がお応えします。みなさんの活動の参考になれば幸いです。

Q ボランティアに交通費を出したいのですが…

活動のお手伝いにボランティアで来てもらっています。少しでもお礼をと思いますが、できれば交通費は出したいと思っています。ただ、遠方の人もいて悩んでしまいます。

A 支給ルールを決めておきましょう。

ボランティアを呼んでいる主催の方はせめて交通費くらいはと考えますよね。支給できる金額があれば交通費を出せばよいのですが、総額で足りないときは1回いくらと決めておけばよいと思います。遠い所の人には足りないかもしれませんが、交通費によって来られなくなることもないでしょうし、団体のルールとして金額を最初に伝えておくと、みんなの共通の思いになるので大切だと思います。

〔遠藤さん〕まちスポ大津理事。前職は認定NPO法人まちづくりネット東近江事務局長。県内各地の中間支援活動に関わること20年、“滋賀のNPOのお母さん”とも称されます。

活動を賛助会員となって応援してください

まちづくりスポット大津は、みんなが暮らしやすい地域を作る多彩な活動のサポートに取り組んでいます。

事業の多くはみなさまからの賛助会費や寄付によって運営しています。

賛助会員となって、また寄付で、私たちの活動を応援してください。オンラインでの申請も可能です。



賛助会員参加はこちらへ

クレジットカードで
会費支払いできます！

まちづくりスポット大津は「認定NPO法人」になりました！ (2024年10月30日付)

◆ 認定NPO法人とは？

認定NPO法人とは、所轄庁が認めるNPO法人のための制度です。公益性の高い事業活動を行っているか、法令等を遵守した適正な組織運営を行い、透明性高い情報開示を行っているかなどを細かな審査を経て承認されます。

認定NPO法人になると、その法人へ寄付をした市民や企業等の寄付者が税制上の優遇措置を受けることができます。

NEW!

Welcome
spring

募集しています

5月
中旬～2025年度
“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金4/12
(土)活動をはじめるときの講座
①活動のはじめ方

“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金は、「地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動」や「多様な人の共感・参加を促す活動」をする団体や団体化を目指す方を応援する助成金です。

“あなたの「やってみたい」を現実に”というまちづくりスポット大津のテーマのもと、団体、グループ、サークル、個人と地域住民の皆様がつながり、広がっていくような活動を応援します。皆様の提案をお待ちしております。

助成金募集の関連講座として、活動をはじめるためのノウハウ講座を行います。活動を始めたい、始めてみたいけど…、どうやって進めていったらいいの？ 最初の一步を踏み出すために役立つ講座です。全3回。

対象

- ①設立3年未満の団体が対象となります（申請時に団体設立されていれば対象となります）。
- ②過去に当助成金を受けられた団体及び個人は応募できません。
- ③反社会的勢力、もしくは類する行為をする団体及び、株式・合同会社などは対象になりません。

助成
金額1件5万円以内
(数件程度)助成
期間2025/8/1(金)
～2026/1/31(土)4/12(土)
10:30-12:00

①活動のはじめ方

5/17(土)
10:30-12:00

②仲間とお金

5/31(土)
10:30-12:00

③運営：会則と事務

詳細はまちスポ大津公式サイトから新着情報で公開します。

私たち、こんな活動をしています。

- ◎活動の育て（講座）
- ◎活動相談
- ◎情報収集・発信拠点
- ◎交流の場づくり
- ◎「ハッシュタグ大津京」運営

公式サイト



まちスポ大津は皆様からの寄付で活動を行っています。
右QRコードより賛助会員へのご協力をお願いします。▶▶▶▶
※年会費10個人3,000円/団体5,000円 右QRコードよりクレジットカード納入可

冬の恒例となったヤーンボミングが終了しました。雪や雨も多い2月でしたが、多くの「オーナーズリー」協力団体の方に飾り付けに参加していただきました。ありがとうございました。ポンポンを通じて様々な交流が生まれる1ヶ月でした。また来年の冬も楽しみましょう。

紙面についてのご感想をお寄せください！



認定NPO法人まちづくりスポット大津

〒520-0021

大津市二本松1番1号ランチ大津京内

MAIL: info@machispo-otsu.net

https://machispo-otsu.net

TEL: 077-511-9814

FAX: 077-548-6758



いろどり+



発行：認定NPO法人まちづくりスポット大津
住所：滋賀県大津市二本松1番1号ランチ大津京内
https://machispo-otsu.net

活動報告！

“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金

“彩りはぐくむ”まちづくりスポット大津助成金は、まちづくりスポット大津に関わりを持ちながら、「地域で暮らす人の心地よい居場所をつくる活動」や「多様な人の共感・参加を促す活動」をする団体を応援するものです。

2024度は5団体に助成し、活動を行っていただきました。今回は採択団体の活動内容や報告会の様子をお届けします。



【開催概要】

助成期間：
2024年8月1日(木)
～2025年1月31日(金)
採択団体数：5団体
活動報告会：2025年3月5日(水)



湖西ゆびまるこ

活動目的

心を育むパステルアートの体験をすることで、「やってみよう」「できた」の心を育む。また、子どもたちが自分や周囲の人を認め、「みんなちがっていい」という人間へと成長するために体験の場をつくる。

活動のようす

月1回からパステルアート&絵本の会を開催。



“やってみよう!”の気持ちで子どもたちが笑顔で参加してくれました。



MooA (ムーア)

活動目的

助産院をもっと身近な場として相談にきてもらいたいという思いから活動スタート。女性や子育てに関わる人たちの不安を解消できるよう助産院を多くの方に知ってもらうため、色々な方が参加できる場をつくる。

活動のようす

助産師2人が主宰して月に1回、産前産後の夫婦、親子、子育て孫育て中の方の悩みや相談を聞くおしゃべり会を開催。



リピーター参加が多く、育児についての様々な相談がありました。



魔法の部屋

活動目的

障害を抱えた子どもやその保護者、発達に課題を抱える子どもたちの居場所づくりとその在り方を考えることを目的として事業を行う。また、本事業が障害児の保護者の居場所のひとつになることを目指す。

活動のようす

親子向けの制作ワークショップ、セミナー、障害を持つ子どもや親が企画したものを行う。



大人と子ども、同じ目線で子どもの“やりたい”を楽しみました。

活動報告会

3月5日に実施した活動報告会では、助成事業の成果報告と意見交換、審査委員長の森川稔さんから「地域とつながる・地域でひろがる」をテーマに話題提供いただきました。意見交換では、集客の課題についてそれぞれが行った告知方法や広報先の情報共有をしたり継続的な活動につなげるための資金調達の工夫について等が話題にあがりました。

また森川さんからは、ご自身の活動を紹介いただきながら採択団体のみなさんにとって、活動の広がりへのヒントとなるようなお話をいただきました。

助成事業はいったん終了となりますが、これからもまちスポ大津はみなさんの活動を応援していきます！

活動のようす

月1回程度、外国にルーツのある家族と日本人家族の交流の場を設け、お互いの文化について学びあい情報交換する。



参加者とのつながりができ、運営メンバーも増えました。

活動のようす

大津駅前公園での草花の観察会、清掃活動、交流会等を通して多世代が居心地の良い場所を見つけ、人との温かい関係を構築していく。

参加者は自然に触れることで心身ともにリラックスできました。

親子で知ろう !!「ぼうさいって？」

2025 年 2 月 15 日（土）ランチ大津京で「ランチ防災 防災について一緒に考えよう」が開催されました。ランチ大津京が持つ防災設備の点検と設置訓練を兼ね、バルーンシェルターと近江神宮外苑公園内にあるマンホールトイレを設置しました。まちスポ大津ではイベント中マンホールトイレの展示・案内を担当しました。

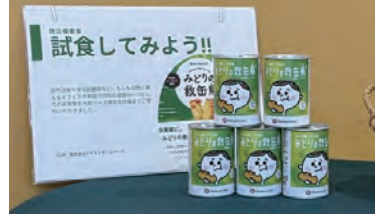


さらに 11 月にまちスポで開催した防災企画に引き続き、みんなで防災について考え

【開催概要】

2025 年 2 月 15 日（土）11:00~15:00
会 場：まちづくりスポット大津コミュニティ
スペース&近江神宮外苑公園
来館者：59 人（うち子ども 23 人 / カルタ
参加 4 組 / クイズ参加 5 組）

てもらふことで地域防災への気づきにつながればという思いで「ランチ防災」と連動した“親子で知ろう !!「ぼうさいって？」”を開催しました。



● 体験して防災を考える

まちスポ大津には親子連れが多く訪れ、多くの方にコミュニティスペースに展示した「災

害用簡易トイレ」に実際に座ってもらいその感触を確かめてもらいました。また缶詰パンの試食は「思っていたより食べやすい」と好評でした。日常から災害時の防災について学べる「子どもの安全カルタ」を 1 日 3 回に分けて開催し、隙間時間で防災クイズも実施しました。参加いただいた方から「カルタやクイズを通して楽しく防災の知識を得られてよかった」という声を多数いただき、身近なところから防災を考える機会になりました。

● 高校生ボランティアの協力

滋賀短期大学附属高校の生徒 5 名がボランティア参加し、カルタやクイズを盛り上げてくれました。また自衛隊の出展コーナーでは防災体験をしてもらいました。生徒や学校から防災の知識だけでなく、地域や社会との繋がりを学ぶ貴重な経験となったとの声をいただき大変嬉しく思い、これからもこのような受け入れが出来るよう取り組んでいきたいと思ひます。

毛系ポンポンデコレーション 2025

2022 年から始まった参加型アートイベントは今年で 4 年目となり、ランチ大津京の木々に毛糸で編んだモチーフや毛系ポンポンが飾られる 2 月の光景は恒例となりました。

「長く保管していた毛糸を寄付できますか」と問い合わせも増え、手編みのセーターや孫への靴下など思い出の詰まったお話と一緒に多くの毛糸を寄付いただきました。

● オーナーツリーのひろがり

昨年から始めた 1 つの団体が一本の木を装飾する「オーナーツリー」には 16 団体のご参加がありました。オーナーツリーには団体の SNS やウェブサイトの QR コードを記したプレートを装飾し、団体の情報を多くの人に知っていただく仕掛けにしています。参加 2 年目のながらまちづくり協議会では、装飾作りのワークショップ開催や近隣の幼稚園と保育園に呼びかけられるなど、人の輪をつなげていくことを目的とするヤーンボミング活動のさなる拡がりを生みました。



● さまざまな団体との連携

▶ オーナーツリー装飾 全 16 団体（2/1 ~）

昨年に引き続き 2 年目参加の 5 団体に加え、新たに 11 団体の参加がありました。

▶ 近隣保育園の協力（2/6・2/10）

ランチ大津京をさんぽコースにしている近隣保育園、アスク保育園 5 歳児 19 名・職員 5 名、楽らく保育 2 歳児 12 名・職員 4 名・保護者 1 名が装飾してくれました。

▶ ブランチ部活動（2/7）

2024 年 12 月からトライアルスタートしたランチ部活動から家庭科部小学校 6 年生～中学 3 年生 9 名が参加してくれました。活動時間はすでに暗く、雪が降る寒さの中の装飾となりましたが、夜のランチの景色はまた違った美しさがありました。

▶ ポンポンづくりワークショップ（2/8）

朝から雪模様でしたが、雪で遊ぶ親子の休憩場所としても利用できるようなんびりと開催しました。NPO 法人 BRAH=art. から絵画展示をしていただくなど、室内ではゆっくりとした時間が流れ、親子連れなど 10 組 28 名が参加してくれました。



KON-KON! おじゃまします

今回はハッシュタグ大津京で親子リトミック教室を行う中山恵美香さんにお話を聞きました。「リトミック」とは音楽と体を動かすことなどを組み合わせた教育法の 1 つです。日本では乳児期から幼児期の音楽教育として習い事などで触れられることが多いようです。（以下、敬称略 / 聞き手：北井）



中山 恵美香さん
えみか音楽教室 リトミック講師

● リトミック教室って？

北井：リトミックって子育て期ならではの習い事です。教室は長くされていますか？

中山：リトミックは最近乳幼児期の習い事として注目されて多くなってきました。実は『窓ぎわのトットちゃん』で紹介されていたり、昔からあります。私は、最初はオンラインリトミックをしていましたが、2023 年から親子リトミック教室を始めました。

北井：ご経歴も音楽関係なのですか？

中山：以前は音楽の先生として、特別支援学校で教えていました。一人ひとり違う中で、それぞれの課題に向き合って働きかけクリアしていくという関わり方で、生徒たちの成長にやりがいを感じていました。転居で離職しましたが、大津に戻ったときまた同じ仕事に戻ろうかと考えて

いました。でも、ちょうど子育て中で、偶然参加したリトミック教室がとても楽しく、リフレッシュできて、これをやりたい!!と思ったんです。

● 大切にしていること

北井：いつも可愛い教室の様子を発信されていますね。

中山：教室では、小道具も工夫してママたちが目いっぱい「かわいいー!!」と楽しくなることを心掛けています。

北井：親子双方に配慮されているのですね。

中山：子育てっていろんなストレスがありますよね。他の子どもと比べてしまったり…。親子で楽しめる工夫をすることで、ママたちのリフレッシュなつらいかなと思っています。リトミックって、遊んでいるようでちゃんと子どもに力がついていくんです。特に、「どう行動していても大丈夫、

他の子と比べないで、前回や今回の様子と比べて成長を見て」と伝えています。終了後は、それぞれの子どもの振り返りとともに、かわいい姿の写真をいっぱい送っています。

● 交流会「えみかふえ」について

北井：新たに始められた「えみかふえ」、どういう機会ですか。

中山：昨年、3 月に行っている「修了リトミック」のあとに「ゆっくりしゃべれてよかった」との感想を聞きました。リトミックの日はそれだけになりがちなので、いつかママとの交流企画をしたかったのですが、教室とも違うので始めるには勇気がいりました。

北井：何かきっかけがあったのですか。

中山：草津で使っている施設で利用者の交流会がありました。そこでふと話してみたら『オフ会します!』って言うてみたら?』と言われ、私にできる形でチャレンジしてみることにしました。

北井：よい機会でしたか？

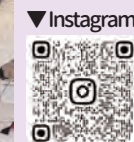
中山：リトミック参加者中心に参加がありました。最近子どもが 0 歳のうちに職場復帰する方も多く、ママ友がいない人も多いです。なのでママたちがおしゃべりできるだけでもよい環境だったと思います。

北井：どんな話題が出ましたか。

中山：夫に手伝ってもらうにはどうするか、と盛り上がりました（笑）。会の最初に「グチだけで終わらない」ということをルールとして伝えたので、「どうしたらできるか」「わが家の作戦は」と前向きに話しができたのもよかったです。



リトミック
教室の様子



● 今後の目標

北井：今後のイメージはどんなものですか？

中山：保育園でのリトミックも始めました。教室は未就園児が多いですが、保育園の年少以上の子どもたちとのリトミックはできることが格段に増える時期で、違った面白さがあります。いずれは 0 歳から 6 歳までの定期クラスが持てると子どもたちの成長にいつそう寄り添えるのではと思います。

北井：同じママとして、そんな教室があるとありがたいです。今後の展開も楽しみです。

第 10 回全国まちスポ交流会 in 大津を開催しました！

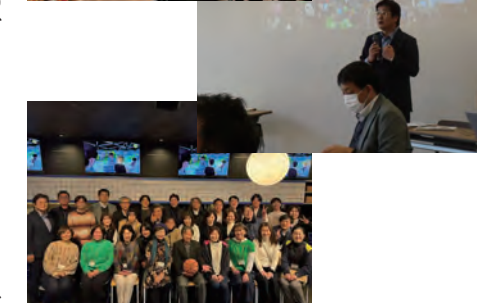


「まちづくりスポット」は大和リース（株）が運営する商業施設を拠点にコミュニティスペースの運営や地域支援・市民活動支援等に活動をする団体で、全国 10 カ所ですれぞれに組織を持って独立した活動を行っています。毎年 1 回、2 日間の日程で「全国まちスポ交流会」を開催し、お互いの情報交換や研修、交流を行い自団体の向上に努めています。今年度は、まちスポ大津がホストとなり開催しました。

今回、開催目的を「中間支援としてのまちスポの活動についての意見交換と検討」とし、1 日目は相談業務の深化、2 日目は各地の事業から学び合うをテーマとしてワークショップを企画しました。

各「まちづくりスポット」は各地で地域や活動団体と関わり合いながら、それぞれの地域特性に応じた活動を展開しています。小グループに分かれて意見交換を行うだけでも、自身のまちスポで生かせそうなこと、課題への気づきが多く得られました。ゲストに藤井絢子さん（元 NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表）を招き、なぜ地域での取組が大切な、グローバルな視点に立って随所でコメントいただきました。懇親会でもプログラム内で話されなかった話題について尋ね合い、有意義な時間となりました。

各地から集まってくださった皆様、ありがとうございました。



【開催概要】

2025 年 1 月 23 日（木）～ 24 日（金）
会 場：まちづくりスポット大津
参加者：36 人（各まちスポ 10 団体と関係する大和リース（株）職員）